



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

2011年12月

特別勘定マンスリーレポート

特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注) 変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売していません。

この資料の内容は当社のホームページでもご覧になれます。

www.axa.co.jp/life/

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

特別勘定マンスリーレポート(2011年12月末)

【目 次】

1. 特別勘定の運用概況	3P
2. 各特別勘定の運用状況	
日本株式型	6P
日本株式積極運用型	7P
米国株式型	8P
欧州株式型	9P
世界株式型(為替ヘッジなし)	10P
世界株式型(為替ヘッジあり)	11P
世界債券型	12P
金融市場型	13P
グローバル・バランス型	14P
3. 各特別勘定で投資している投資信託の運用状況	15P
4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介	25P

『ご留意いただきたい事項』

■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

■生命保険です

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■運用実績に応じて変動します。

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

1. 特別勘定の運用概況

▶ 特別勘定の運用方針

日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX ^{※1})を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 ^{※2} を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 ^{※3} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス ^{※4} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) ^{※5} 50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本) ^{※6} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) ^{※7} を上回る投資成果を目指します。
グローバル・ バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス ^{※8} 50%、シティグループ世界国債インデックス ^{※9} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。

- ※1) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。
※2) S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。
※3) MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。
※4) MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。
※5) NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
※6) シティグループ世界国債インデックス(除く日本)とはシティグループ・グローバル・マーケットが算出・公表している指数で、日本を除いた世界主要国の国債の総利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。
※7) NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
※8) MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。
※9) シティグループ世界国債インデックスとはシティグループ・グローバル・マーケットが算出・公表している指数で、日本を含む世界主要国の国債の総利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

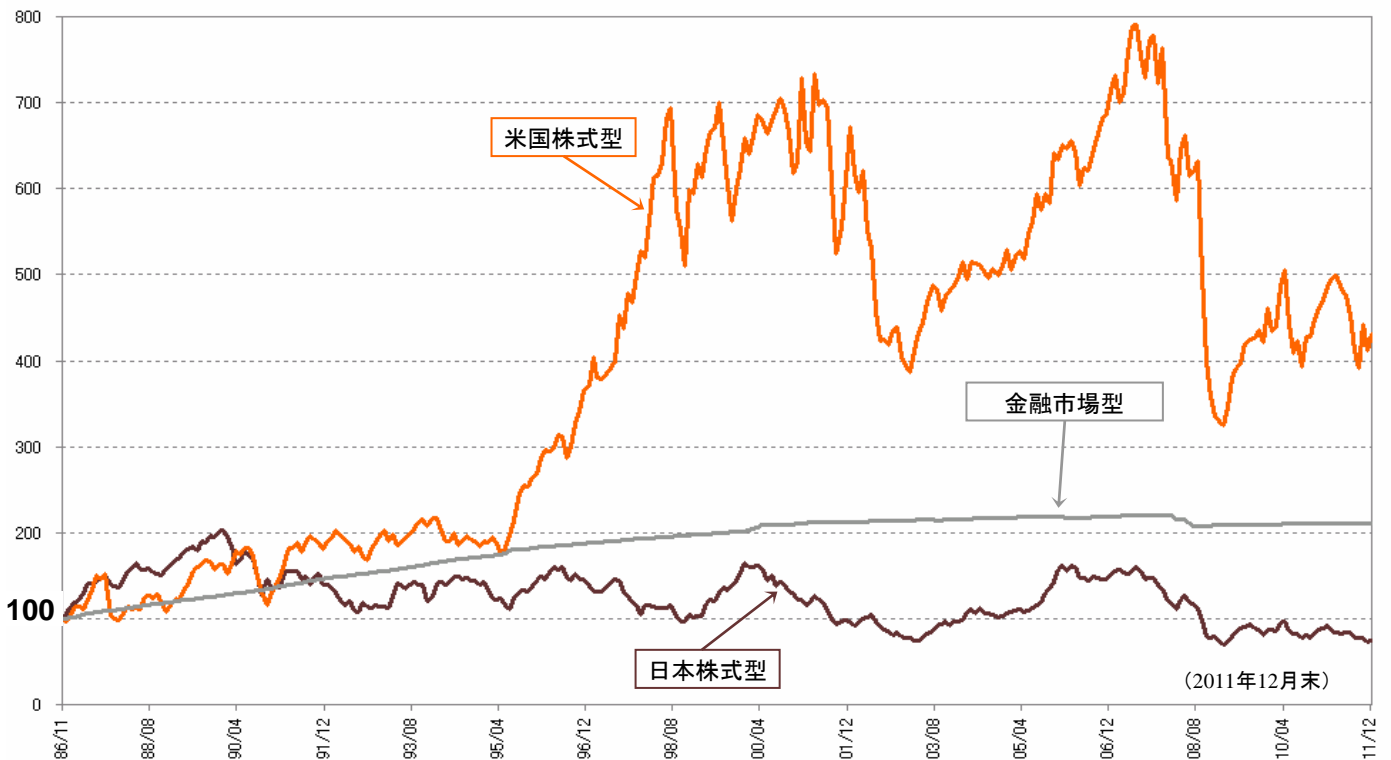
▶特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧(2011年12月末現在)

特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	74.02130425	+0.81%	▲4.66%	▲12.13%	▲15.29%	▲6.86%	▲51.21%	▲25.98%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	44.03556229	▲0.71%	▲4.47%	▲15.45%	▲16.15%	▲10.60%	▲56.25%	▲55.96%
米国株式型	1986年12月1日	430.94520354	+4.57%	+10.34%	▲9.20%	▲6.57%	+28.36%	▲39.63%	+330.95%
欧州株式型	1999年4月1日	77.03430488	+1.32%	+2.86%	▲22.89%	▲18.19%	+7.57%	▲51.93%	▲22.97%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	76.69043541	+2.52%	+6.55%	▲14.64%	▲11.25%	+25.51%	▲39.53%	▲23.31%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	85.14222370	+3.40%	+5.55%	▲8.49%	▲7.15%	+38.87%	▲12.07%	▲14.86%
世界債券型	1999年4月1日	121.13146620	+0.50%	+0.64%	▲1.45%	+0.79%	+6.33%	▲5.60%	+21.13%
金融市場型	1986年12月1日	210.44258736	+0.02%	+0.02%	+0.06%	+0.13%	+0.90%	▲3.76%	+110.44%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	97.14815548	+0.83%	+2.61%	▲9.93%	▲7.34%	+10.12%	▲27.24%	▲2.85%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

▶特別勘定のユニット・プライス推移(2011年12月末現在)

- ◆1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式型/米国株式型/金融市場型)

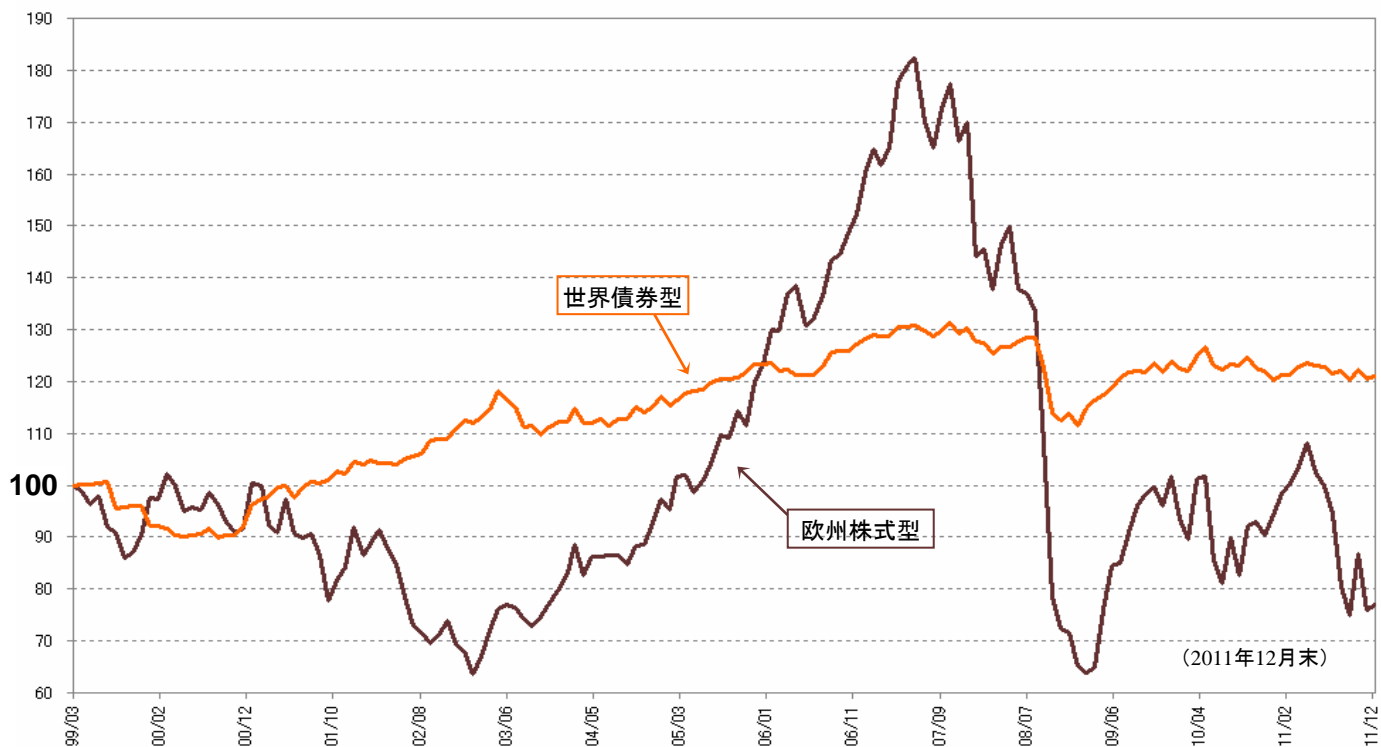


ご注意

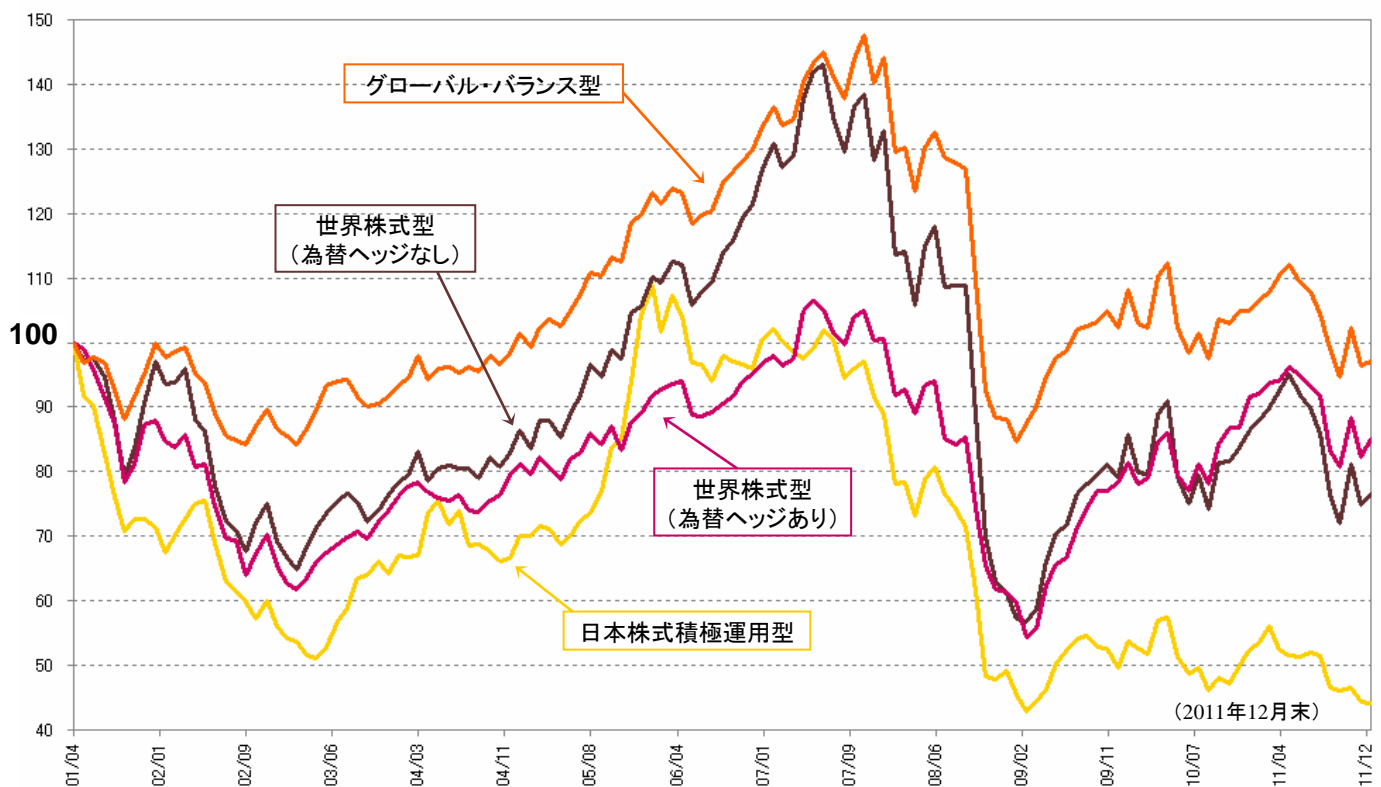
『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

◆1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



◆2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

2. 各特別勘定の運用状況

日本株式型特別勘定 運用状況 (2011年12月末現在)

運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	13,923,798	99.8%
現預金・その他	32,566	0.2%
合計	13,956,364	100.0%

運用状況

2011年12月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で0.13%上昇しました。上旬は、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金供給拡充合意が好感されたことやEU(欧州連合)首脳会議への期待などから、世界景気や金融システムに対する懸念が後退し、上昇して始まりました。中旬にかけて、日銀短観の業況判断が悪化したことや、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したこと、EU首脳会議の合意内容が不十分であるとの見方から円高ユーロ安が進んだことなどを材料に、一時下落する局面もありました。しかし下旬には、堅調な米国経済指標などから、米国の株式市場の上昇を背景に国内株式も底堅く推移しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.81%上昇しました。

現在、「ラッセル日本株式ファンドI-3」、「日本株バリュールマルチマネージャーファンド」および「アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド」へ投資を行っています。

12月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
74.02130425	+0.81%	▲4.66%	▲12.13%	▲15.29%	▲6.86%	▲51.21%	▲25.98%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (58.2%) : p15上段
日本株バリュールマルチマネージャーファンド (19.9%) : p15下段
アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド (21.7%) : p16上段
現預金・その他 (0.2%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

日本株式積極運用型特別勘定 運用状況(2011年12月末現在)

運用方針

- 主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	975,516	99.5%
現預金・その他	4,652	0.5%
合計	980,168	100.0%

運用状況

2011年12月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で0.13%上昇しました。上旬は、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金供給拡充合意が好感されたことやEU(欧州連合)首脳会議への期待などから、世界景気や金融システムに対する懸念が後退し、上昇して始まりました。中旬にかけて、日銀短観の業況判断が悪化したことや、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したこと、EU首脳会議の合意内容が不十分であるとの見方から円高ユーロ安が進んだことなどを材料に、一時下落する局面もありました。しかし下旬には、堅調な米国経済指標などから、米国の株式市場の上昇を背景に国内株式も底堅く推移しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.71%下落しました。

現在、「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」へ投資を行っています。

12月は資金移動に合わせて「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」の売買を行いました。

1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
44.03556229	▲0.71%	▲4.47%	▲15.45%	▲16.15%	▲10.60%	▲56.25%	▲55.96%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (79.9%) : p16下段
ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (19.6%) : p17上段
現預金・その他 (0.5%)

(注)「p16下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

米国株式型特別勘定 運用状況 (2011年12月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S&P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	8,364,204	99.6%
現預金・その他	32,448	0.4%
合計	8,396,653	100.0%

運用状況

2011年12月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で0.95%上昇しました。上旬は、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金の供給拡充合意が好感されたことやEU(欧州連合)首脳会議への期待などから、上昇して始まったものの、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したこと、EU首脳会議の合意内容が不十分であるとの見方など欧州債務問題の懸念から、下落しました。しかし下旬にかけては、米消費者信頼感指数など堅調な経済指標や給与税の減税が2ヶ月間延長で合意したことなどを受けて上昇に転じました。このような市場環境の中、当特別勘定は4.57%上昇しました。

現在、「RIC US Equity Fund」および「米国株式インデックスファンドVA」へ投資を行っています。

12月は資金移動に合わせて「米国株式インデックスファンドVA」の売買を行いました。

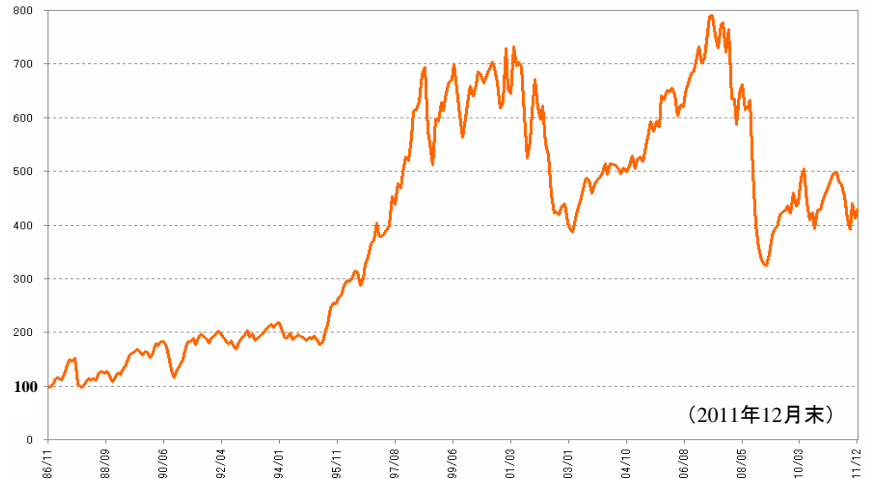
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
430.94520354	+4.57%	+10.34%	▲9.20%	▲6.57%	+28.36%	▲39.63%	+330.95%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

欧州株式型特別勘定 運用状況(2011年12月末現在)

運用方針

- 主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCIヨーロッパ指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	2,107,111	99.7%
現預金・その他	6,251	0.3%
合計	2,113,363	100.0%

運用状況

2011年12月の欧州株式市場はMSCI Europe(現地通貨ベース)で0.99%上昇しました。上旬は、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金の供給拡充合意、EU(欧州連合)首脳会議やECB(欧州中央銀行)政策理事会への期待などから、堅調に推移しました。しかし中旬にかけて、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したことやEU首脳会議では具体的な方法が示されず、ECBも量的緩和政策を発動するには至らなかったこと、ユーロ圏への政策は危機対応への迅速さを欠くとの見方などから、下落しました。下旬には、米消費者信頼感指数など堅調な米国経済指標が発表されたことや、12月の独Ifo景況感指数が予想に反して改善したことなどから、上昇に転じて月末を迎えました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.32%上昇しました。

現在、「RIC II Pan European Equity Fund」および「フィデリティ・欧州株・ファンド」へ投資を行っています。

12月は資金移動に合わせて「フィデリティ・欧州株・ファンド」の売買を行いました。

1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

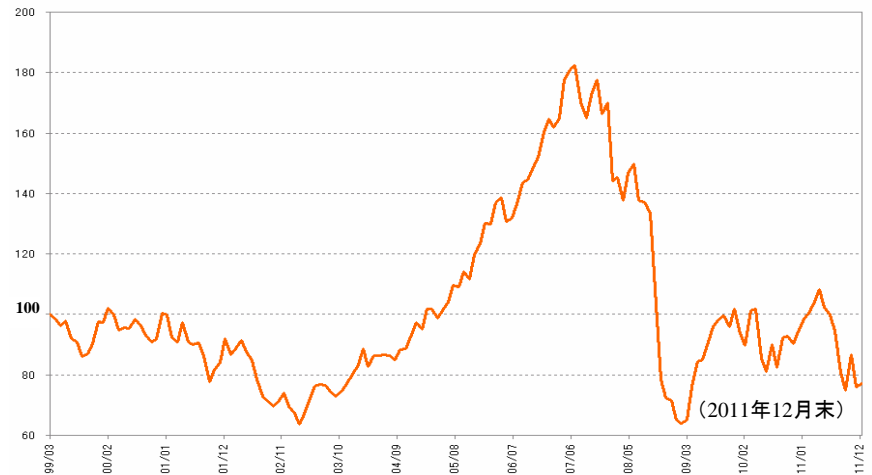
- 将来の投資成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
77.03430488	+1.32%	+2.86%	▲22.89%	▲18.19%	+7.57%	▲51.93%	▲22.97%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(100)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II Pan European Equity Fund (20.1%) : p18下段
フィデリティ・欧州株・ファンド (79.6%) : p19上段
現預金・その他 (0.3%)

(注)「p18下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定 運用状況(2011年12月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,154,679	99.5%
現預金・その他	5,969	0.5%
合計	1,160,647	100.0%

運用状況

2011年12月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.69%上昇しました。上旬は、米国・ドイツともに、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金の供給拡充合意やEU首脳会議への期待などを受け、上昇して始まりました。しかし、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したことやEU(欧州連合)首脳会議では具体的な方法が示されず、ECB(欧州中央銀行)も量的緩和政策を発動するには至らなかったこと、ユーロ圏への政策は危機対応への迅速さを欠くとの見方などから、中旬は軟調に推移しました。下旬にかけては、米消費者信頼感指数など堅調な米国経済指標が発表されたことや、12月の独Ifa景況感指数が予想に反して改善したことなどから上昇に転じました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.52%上昇しました。

現在、「ラッセル外国株式ファンドI-4B」および「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」へ投資を行っています。

12月は資金移動に合わせて「ラッセル外国株式ファンドI-4B」の売買を行いました。

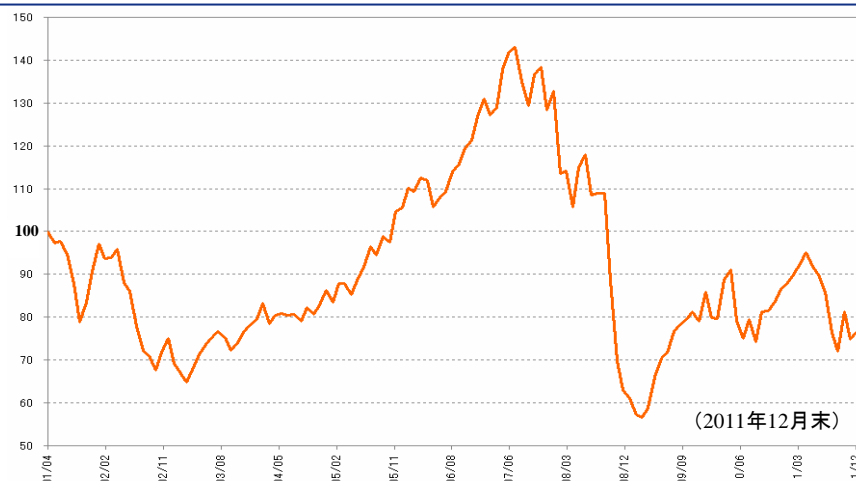
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
76.69043541	+2.52%	+6.55%	▲14.64%	▲11.25%	+25.51%	▲39.53%	▲23.31%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4B (79.4%) : p19下段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (20.1%) : p20上段
現預金・その他 (0.5%)

(注)「p19下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2011年12月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	475,016	99.5%
現預金・その他	2,182	0.5%
合計	477,198	100.0%

運用状況

2011年12月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.69%上昇しました。上旬は、米国・ドイツともに、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金の供給拡充合意やEU首脳会議への期待などを受け、上昇して始まりました。しかし、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したことやEU(欧州連合)首脳会議では具体的な方法が示されず、ECB(欧州中央銀行)も量的緩和政策を発動するには至らなかったこと、ユーロ圏への政策は危機対応への迅速さを欠くとの見方などから、中旬は軟調に推移しました。下旬にかけては、米消費者信頼感指数など堅調な米国経済指標が発表されたことや、12月の独Ifd景況感指数が予想に反して改善したことなどから上昇に転じました。このような市場環境の中、当特別勘定は3.40%上昇しました。

現在、「ラッセル外国株式ファンドI-4A」および「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」へ投資を行っています。

12月は資金移動に合わせて「ラッセル外国株式ファンドI-4A」の一部売却を行いました。

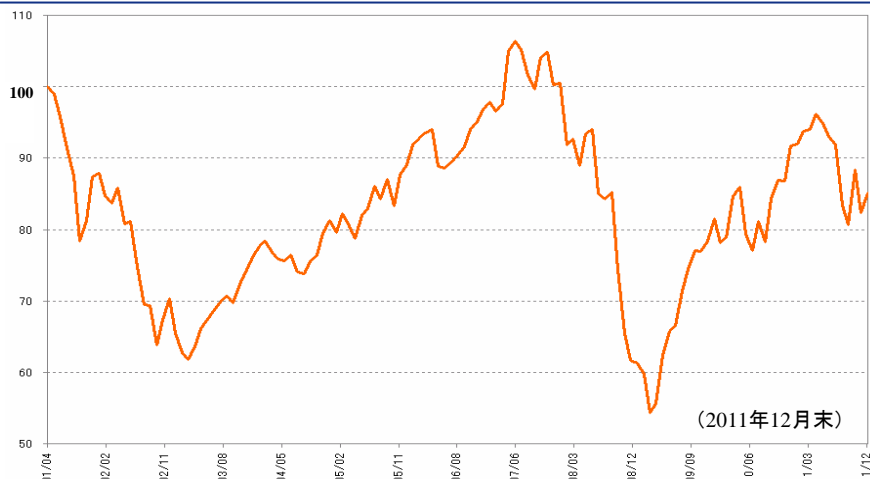
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
85.14222370	+3.40%	+5.55%	▲8.49%	▲7.15%	+38.87%	▲12.07%	▲14.86%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4A (79.3%) : p20下段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) (20.2%) : p21上段
現預金・その他 (0.5%)

(注)「p20下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界債券型特別勘定 運用状況(2011年12月末現在)

運用方針

- 主に国内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。
- 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。
- NOMURA-BPI(総合)50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,678,249	99.8%
現預金・その他	17,495	0.2%
合計	7,695,744	100.0%

運用状況

2011年12月の世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で1.73%上昇しました。米国債券市場は、堅調な米国経済指標が売り材料となる場面もありましたが、EU(欧州連合)首脳会議での合意内容が危機回避には不十分との見方が広がったことや、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すなど発表したことなどが買い材料となり金利は低下(価格は上昇)しました。欧州債券市場は、中旬に堅調な独経済指標が発表されるなど金利が上昇(価格は下落)する局面もありましたが、月を通して欧州債務問題が深刻化したことから相対的に安全資産とされる独国債は低下基調で推移しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.50%上昇しました。

現在、「RIC Global Bond Fund」、「ラッセル日本債券ファンドI-1」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」へ投資を行っています。

12月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

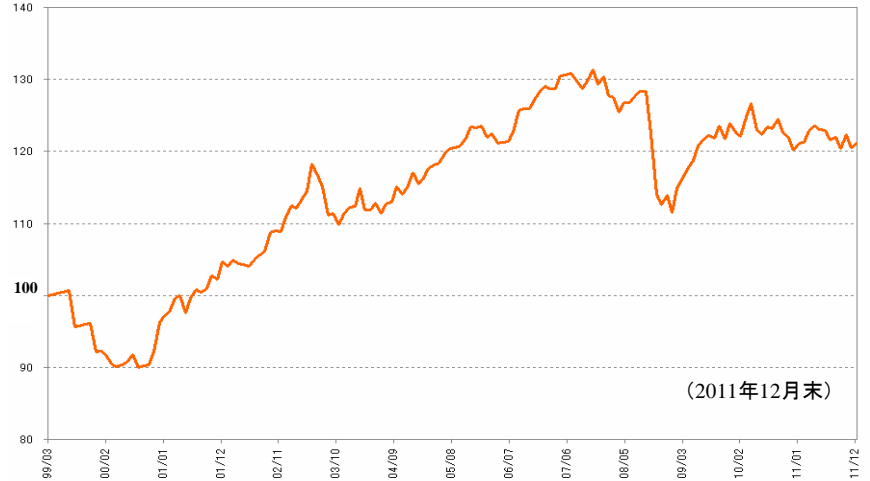
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

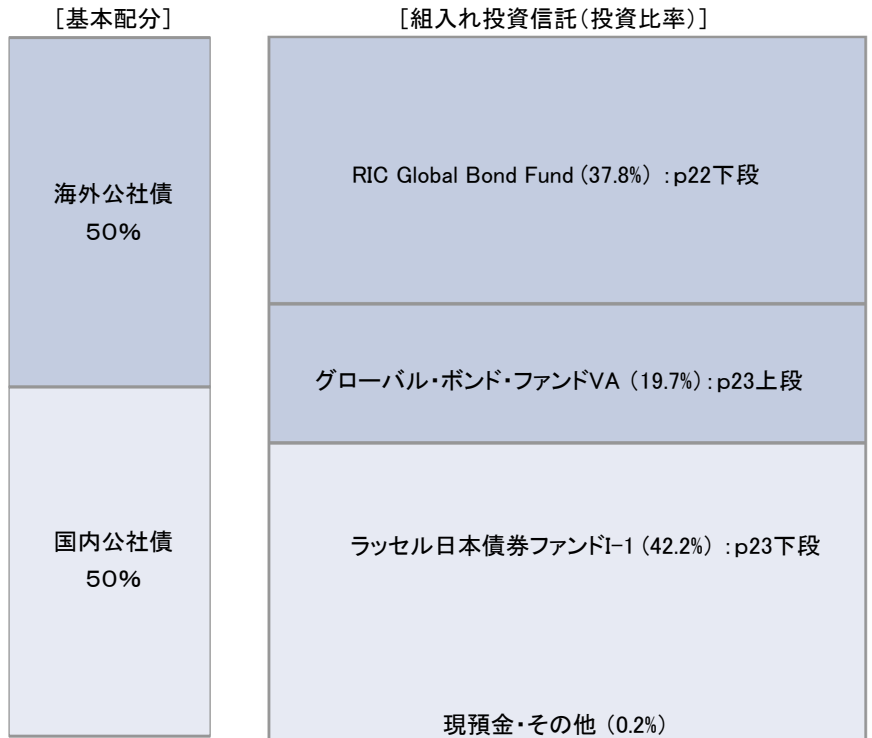
ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
121.13146620	+0.50%	+0.64%	▲1.45%	+0.79%	+6.33%	▲5.60%	+21.13%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1999年4月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況



(注)「p22下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

金融市場型特別勘定 運用状況 (2011年12月末現在)

運用方針

- 主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。
- NOMURA-BPI(総合短期)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	8,417,421	99.3%
現預金・その他	60,946	0.7%
合計	8,478,367	100.0%

運用状況

2011年12月の国内債券市場はNOMURA-BPI(総合)で0.63%上昇しました。上旬は、日米欧中央銀行のドル資金供給拡充策合意などからリスク回避姿勢が和らぎ、金利は上昇(価格は下落)しました。しかし中旬には、EU(欧州連合)首脳会議での合意内容が危機回避には不十分との見方が広がったことや、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことなどを発表したことを受け、低下(価格は上昇)しました。その後は、欧州債務問題の懸念と米国景気の回復期待などが交錯して揉み合う展開となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.02%上昇しました。

現在、「ノムラ短期債券オープン」および「フィデリティ・マネー・プールVA」へ投資を行っています。

12月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

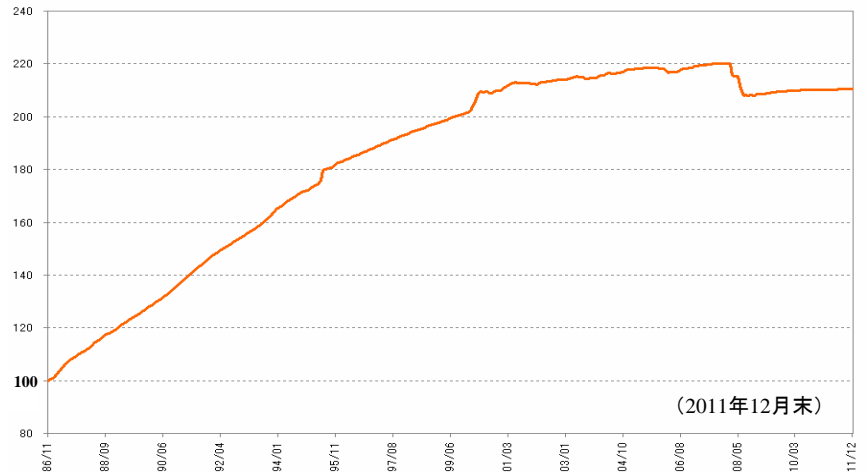
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
210.44258736	+0.02%	+0.02%	+0.06%	+0.13%	+0.90%	▲3.76%	+110.44%

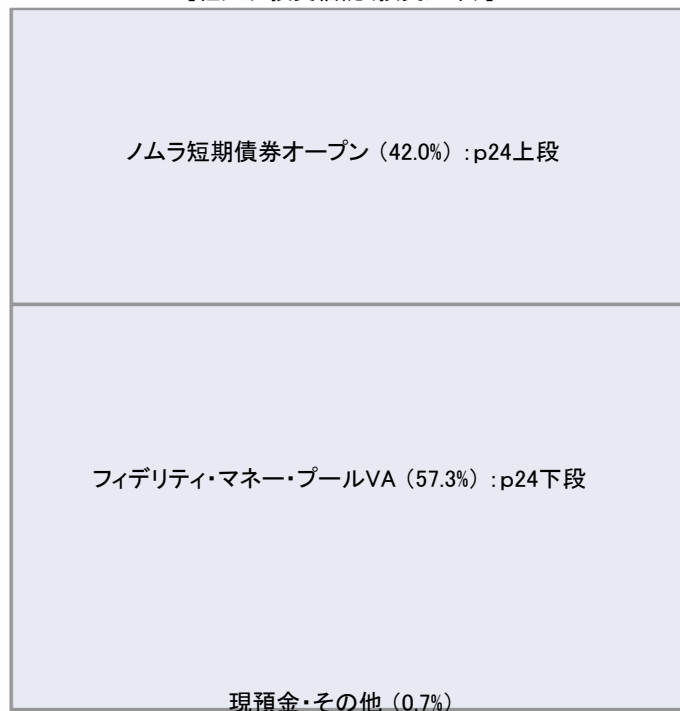
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p24上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

グローバル・バランス型特別勘定 運用状況(2011年12月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。
- 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。
- MSCI WORLDインデックス50%、シティグループ世界国債インデックス50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	14,382,128	99.7%
現預金・その他	42,489	0.3%
合計	14,424,617	100.0%

運用状況

2011年12月のグローバル株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.69%上昇しました。グローバル債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で1.73%上昇しました。上旬は、11月末の日米欧主要国中央銀行によるドル資金の供給拡充合意、EU(欧州連合)首脳会議やECB(欧州中央銀行)政策理事会への期待などから、米国・ドイツ株式市場ともに堅調に推移しました。米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したことやEU首脳会議では具体的な方法が示されず、ECBも量的緩和政策を発動するには至らなかったことなどから、中旬は軟調に推移しましたが、下旬にかけては、米国・ドイツともに堅調な経済指標が発表されたことなどから上昇に転じました。債券市場は、米国・ドイツとも堅調な経済指標が発表されたことなどから売られ、金利が上昇(価格は下落)する局面もありましたが、EU首脳会議での合意内容が危機回避には不十分との見方が広がったことや、米格付機関がユーロ諸国の国債を引き下げる方向で見直すことと発表したことなど、月を通して欧州債務問題が深刻化したことが買い材料となり、金利は低下(価格は上昇)基調で推移しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.83%上昇しました。

現在、「RIC II World Equity Fund」、「RIC Global Bond Fund」、「グローバル成長株ファンド」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」へ投資を行っています。

12月は資金移動に合わせて「グローバル成長株ファンド」の購入、および「グローバル・ボンド・ファンドVA」の一部売却を行いました。

1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

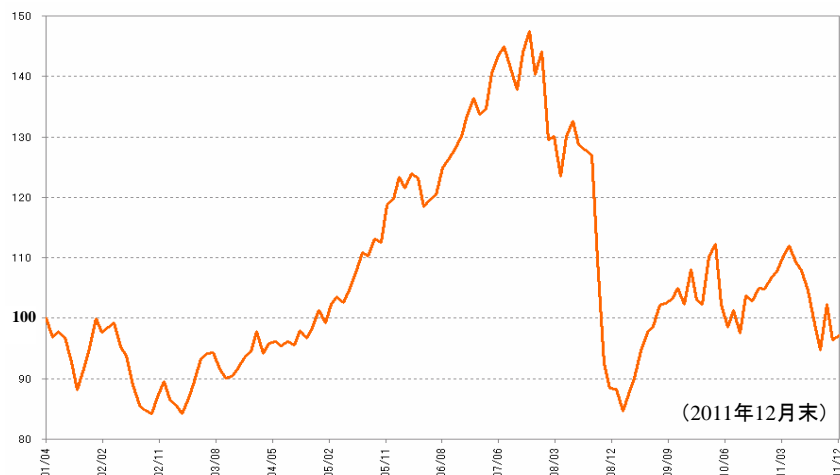
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
97.14815548	+0.83%	+2.61%	▲9.93%	▲7.34%	+10.12%	▲27.24%	▲2.85%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(100)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

国内外株式
50%

国内外公社債
50%

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II World Equity Fund (30.1%) : p21 下段

グローバル成長株ファンド (19.6%) : p22 上段

RIC Global Bond Fund (30.1%) : p22 下段

グローバル・ボンド・ファンドVA (19.9%) : p23 上段

現預金・その他 (0.3%)

(注)「p21 下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

3.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆国内の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.23%	+0.13%
過去3ヵ月	▲4.20%	▲4.17%
過去6ヵ月	▲13.39%	▲13.22%
過去1年	▲17.09%	▲17.00%
過去3年	▲9.27%	▲9.81%
設定来	▲6.97%	▲9.06%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2002年9月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
銀行業	11.2%
電気機器	11.1%
卸売業	9.5%
情報・通信業	9.1%
輸送用機器	7.6%
化学	6.7%
小売業	4.8%
機械	4.0%
陸運業	3.6%
医薬品	3.3%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.6%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
日本電信電話	情報・通信業	2.6%
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	2.5%
三井物産	卸売業	2.2%
三菱商事	卸売業	2.2%
三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.2%
日産自動車	輸送用機器	1.6%
オリックス	その他金融業	1.5%
東日本旅客鉄道	陸運業	1.4%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
RIS(リサーチ&バリュ-ISP)	バリュー型	10%
ゼブラ	バリュー型	20%
アライアンス・パートナーズ	バリュー型	20%
ファンネックス	マーケット・オリエンテッド型	25%
住友信託	グロース型	25%

- ①比率は国内株式評価額合計に占める割合
- ②キャッシュ・エクイティゼーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。

* ISP: Investment Strategy Portfolio

(投資信託名)日本株バリュ-マルチマネージャーファンド

(運用会社)新光投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の株式の中から割安とされる銘柄に投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「バリュ-1号マザーファンド」および「バリュ-2号マザーファンド」を主要投資対象とします。各マザーファンドの投資配分の決定にあたっては、HCアセットマネジメントの助言を受けます。
- ◆株式の運用指図に関する権限については、バリュ-1号マザーファンドはラザード・ジャパン・アセット・マネジメント株式会社に、バリュ-2号マザーファンドはBNPパリバ・インベストメント・パートナーズ株式会社にそれぞれ委託しています。

(出所)新光投信株式会社

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.41%
過去3ヵ月	▲5.16%
過去6ヵ月	▲13.11%
過去1年	▲14.95%
過去3年	▲9.64%
設定来	▲24.33%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2003年11月20日]



ポートフォリオの状況(2011年12月末現在)

■マザーファンド組入比率

マザーファンド	比率
バリュ-1号マザーファンド	68.90%
バリュ-2号マザーファンド	30.50%

※組入上位5業種および組入上位5銘柄の比率は各マザーファンドの株式組入比率全体を100%とした比率です。

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	12.9%
銀行業	12.0%
化学	9.7%
建設業	9.6%
情報・通信業	9.4%

バリュ-1号マザーファンド

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
みずほフィナンシャルG	4.6%
日本電信電話	4.4%
三菱UFJフィナンシャルG	4.2%
JXホールディングス	4.1%
任天堂	3.6%

バリュ-2号マザーファンド

業種	比率
電気機器	20.8%
サービス業	12.3%
化学	10.9%
機械	9.6%
情報・通信業	8.4%

銘柄	比率
UTホールディングス	5.6%
芝浦電子	5.4%
住友網管	4.5%
SBSホールディングス	4.3%
堺化学工業	4.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+2.89%
過去3ヵ月	▲5.41%
過去6ヵ月	▲7.99%
過去1年	▲9.92%
過去3年	▲1.15%
設 定 来	+29.16%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	84.8%
東京二部	4.9%
JASDAQ	1.1%
その他市場	3.9%
現金・その他	5.2%
合 計	100.0%

(出所)アムンディ・ジャパン株式会社

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	18.2%
機械	14.4%
化学	10.8%
建設業	7.6%
情報・通信業	6.3%
医薬品	4.8%
金属製品	4.4%
卸売業	4.1%
銀行業	3.4%
鉄 鋼	3.0%

※構成比はマザーファンドの対純資産総額に対する比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
積水樹脂	化学	2.4%
アマダ	機械	2.3%
三機工業	建設業	2.3%
マブチモーター	電気機器	2.1%
日本デジタル研究所	電気機器	2.1%
鹿児島銀行	銀行業	2.1%
東京応化工業	化学	2.0%
キッセイ薬品工業	医薬品	2.0%
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	保険業	2.0%
日本新薬	医薬品	1.9%

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲0.92%	+0.13%
過去3ヵ月	▲4.35%	▲4.17%
過去6ヵ月	▲16.35%	▲13.22%
過去1年	▲17.53%	▲17.00%
過去3年	▲0.76%	▲9.81%
設 定 来	▲16.13%	▲19.74%

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2001年11月29日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率
(2011年11月末現在)

市場	比率
東 証 1 部	89.3%
東 証 2 部	0.0%
シヤスタック	1.0%
その他市場	6.7%

■組入上位5業種
(2011年11月末現在)

業種	比率
電気機器	17.9%
輸送用機器	9.6%
機械	7.6%
卸売業	6.3%
銀行業	5.8%

■株式組入上位10銘柄(2011年11月末現在)

銘柄	業種	比率
本田技研工業	輸送用機器	3.2%
ミズホ・グループ本社	卸売業	3.1%
ダイキン工業	機械	2.6%
オックス	その他金融業	2.4%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.3%
三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	2.2%
日立金属	鉄鋼	2.0%
大和工業	鉄鋼	1.9%
三井住友ファイナシャルグループ	銀行業	1.9%
マキタ	機械	1.9%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド

(運用会社)ピクテ投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ピクテ投信投資顧問株式会社

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.26%
過去3ヵ月	▲5.87%
過去6ヵ月	▲15.22%
過去1年	▲15.22%
過去3年	▲19.60%
設定来	▲22.49%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2002年5月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	89.5%
ジャスダック	3.3%
大証1部	2.8%
東証REIT	2.0%
大証2部	1.0%

■組入上位5業種

業種	比率
化学	15.2%
輸送用機器	12.0%
卸売業	10.8%
電気機器	9.1%
銀行業	8.5%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.6%
日本電信電話	情報・通信業	2.5%
東京海上ホールディングス	保険業	2.5%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.4%
本田技研工業	輸送用機器	2.3%
キヤノン	電気機器	2.2%
三菱地所	不動産業	2.1%
エヌ・ティ・ティ・コム	情報・通信業	2.0%
豊田通商	卸売業	1.9%
インファーマシーズ	小売業	1.9%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(投資信託名)RIC US Equity Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米国の大型株を主要投資対象とし、ベンチマーク(Russell 1000 Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用し、分散化を図ることで、ベンチマークと同程度リスクになるようコントロールします。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+0.00%	+0.79%
過去3ヵ月	+11.83%	+11.66%
過去6ヵ月	▲7.28%	▲4.88%
過去1年	▲2.50%	+0.90%
過去3年	+45.79%	+48.53%
設定来	+26.92%	+58.96%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:1998年1月2日]



ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2011年12月末現在)

銘柄	業種	比率
Pfizer, Inc.	ヘルスケア	31%
Apple, Inc.	テクノロジー	31%
JPMorgan Chase&Co.	金融サービス	25%
Exxon Mobil Corp.	エネルギー	24%
Microsoft Corp.	テクノロジー	24%
MetLife, Inc.	金融サービス	18%
Qualcomm, Inc.	テクノロジー	17%
Schering-Plough Corp.	ヘルスケア	17%
Johnson Controls, Inc.	一般消費財	16%
Google, Inc.	テクノロジー	15%

■外部委託会社(2011年12月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Suffolk Capital Management	マーケット・オリエンテッド型	11.0%
Institutional Capital Corporation	バリュー型	21.0%
Columbus Circle	グロース型	17.0%
Cornerstone	グロース型	10.0%
Pzena	バリュー型	6.0%
Levin	マーケット・オリエンテッド型	10.0%
Ceredex Value	バリュー型	18.0%
HS Management	グロース型	6.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)米国株式インデックスファンドVA

(運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ S & P500種株価指数(円ベース)に連動した投資成果を目指します。
- ◆ ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「米国株式インデックスマザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+5.25%	+5.15%
過去3ヵ月	+10.86%	+10.39%
過去6ヵ月	▲6.15%	▲6.97%
過去1年	▲2.72%	▲4.36%
過去3年	+33.06%	+24.06%
設定来	▲1.47%	▲14.73%

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2003年11月21日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(2011年12月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
EXXON MOBIL CORP	エネルギー	3.40%
APPLE COMPUTER INC	テクノロジー・ハードウェア	3.13%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	ソフトウェア・サービス	1.82%
CHEVRON CORP	エネルギー	1.77%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	1.62%
GENERAL ELECTRIC CO.	資本財	1.58%
PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	1.53%
JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー	1.49%
AT&T INC	電気通信サービス	1.49%
PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー	1.40%

※比率は対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)RIC II Pan European Equity Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ 欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆ 複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
- ◆ 当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.67%	+1.97%
過去3ヵ月	+7.93%	+8.61%
過去6ヵ月	▲11.58%	▲9.54%
過去1年	▲10.52%	▲8.81%
過去3年	+36.68%	+33.32%
設定来	▲22.91%	▲9.58%

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2000年11月14日]



※騰落状況はユーロベースで計算しており、基準価額の推移もユーロベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2011年12月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
Vodafone Group PLC	イギリス	通信サービス	2.9%
Nestle SA	スイス	生活必需品	2.2%
Total SA	フランス	エネルギー	1.9%
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	1.8%
Royal Dutch Shell	イギリス	エネルギー	1.8%
BP PLC	イギリス	エネルギー	1.7%
ING Groep NV	オランダ	金融	1.5%
ENI S.p.A.	イタリア	エネルギー	1.5%
British American Tobacco	イギリス	生活必需品	1.5%
Novartis AG	スイス	ヘルスケア	1.4%

■外部委託会社(2011年12月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Numeric	バリュ型	20.0%
THS	グローバル型	10.0%
TT International	グローバル型	15.0%
Hermes Sourcecap	グローバル型	10.0%
Pzena	バリュ型	15.0%
Oechsle International	グローバル型	20.0%
SW Mitchell	グローバル型	10.0%

(出所)Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)フィデリティ・欧州株・ファンド

(運用会社)フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.49%	▲2.41%
過去3ヵ月	+2.22%	+5.26%
過去6ヵ月	▲23.11%	▲22.20%
過去1年	▲18.37%	▲15.30%
過去3年	+8.68%	+8.08%
設定来	▲8.95%	▲14.53%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:1998年4月1日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国(2011年11月末現在)

国名	比率
イギリス	24.8%
ドイツ	14.8%
フランス	12.0%
スペイン	7.1%
スイス	6.1%

■組入上位5業種(2011年11月末現在)

業種	比率
エネルギー	13.0%
食品・飲料・タバコ	10.1%
医薬品・バイオテクノロジー	9.9%
ジー・ライフサイエンス	7.7%
各種金融	5.7%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄(2011年11月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	3.7%
SANOFI	フランス	医薬品	3.3%
INDITEX SA	スペイン	小売	2.6%
BG GROUP PLC	イギリス	エネルギー	2.6%
ROYAL DUTCH SHELL PLC CL A (NL)	イギリス	エネルギー	2.6%
IMPERIAL TOBACCO GROUP PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.2%
BP PLC	イギリス	エネルギー	2.1%
UBS AG-REGISTERED	スイス	各種金融	2.1%
UNILEVER NV CVA	オランダ	食品・飲料・タバコ	1.9%
CARLSBERG AS CL B	デンマーク	食品・飲料・タバコ	1.8%

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4B

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.32%	▲0.99%
過去3ヵ月	+6.32%	+8.83%
過去6ヵ月	▲15.15%	▲14.34%
過去1年	▲11.58%	▲8.92%
過去3年	+30.43%	+22.33%
設定来	+6.94%	+10.56%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	58.8%
ユーロ地域	17.4%
ユーロ域外	20.4%
その他	3.3%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Nestle SA	CHF	2.1%
JULIUS BAER GROUP	CHF	1.6%
Intel Corp.	USD	1.4%
Diageo PLC	GBP	1.4%
Apple, Inc.	USD	1.3%
CIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.3%
Akzo Nobel NV	EUR	1.1%
VISA INC-CLASS A	USD	1.1%
National Oilwell Varco, Inc.	USD	0.9%
STARWOOD HOTELS	USD	0.9%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーシコ	グロース型	15.0%
マッキンリー	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイティセクション(流動資金の株式化)部分等を除く。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+3.47%	+3.26%
過去3ヵ月	+7.61%	+6.90%
過去6ヵ月	▲12.94%	▲13.53%
過去1年	▲9.63%	▲11.13%
過去3年	+21.97%	+15.49%
設定来	▲11.54%	▲19.58%

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	57.65%
イギリス	10.13%
カナダ	5.46%
スイス	4.01%
フランス	3.92%
オーストラリア	3.86%
ドイツ	3.50%
スペイン	1.46%
スウェーデン	1.33%
オランダ	1.17%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.96%
APPLE COMPUTER INC	アメリカ	1.78%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	1.05%
CHEVRON CORP	アメリカ	1.02%
MICROSOFT CORP	アメリカ	0.93%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.91%
NESTLE SA-REG	スイス	0.89%
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	0.87%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.85%
AT&T INC	アメリカ	0.85%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4A

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジを行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+3.21%	+0.52%
過去3ヵ月	+5.18%	+9.26%
過去6ヵ月	▲9.25%	▲7.23%
過去1年	▲7.98%	▲3.61%
過去3年	+42.28%	+37.83%
設定来	+14.66%	+27.05%

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	58.8%
ユーロ地域	17.4%
ユーロ域外欧州	20.4%
その他	3.3%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Nestle SA	CHF	2.1%
JULIUS BAER GROUP	CHF	1.6%
Intel Corp.	USD	1.4%
Diageo PLC	GBP	1.4%
Apple, Inc.	USD	1.3%
CIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.3%
Akzo Nobel NV	EUR	1.1%
VISA INC-CLASS A	USD	1.1%
National Oilwell Varco, Inc.	USD	0.9%
STARWOOD HOTELS	USD	0.9%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーシコ	グロース型	15.0%
マッキンリー	グロース型	15.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイティ・ポジション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) (運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+4.43%	+4.25%
過去3ヵ月	+6.94%	+6.53%
過去6ヵ月	▲6.79%	▲7.21%
過去1年	▲5.40%	▲6.81%
過去3年	+37.81%	+30.68%
設定来	▲0.91%	▲10.27%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2001年10月17日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■組入上位10カ国

国名	ウェイト
アメリカ	57.77%
イギリス	9.65%
カナダ	5.13%
スイス	4.00%
フランス	3.84%
オーストラリア	3.68%
ドイツ	3.31%
欧州	2.22%
スペイン	1.40%
スウェーデン	1.26%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	1.88%
APPLE COMPUTER INC	アメリカ	1.70%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	1.01%
CHEVRON CORP	アメリカ	0.98%
MICROSOFT CORP	アメリカ	0.89%
GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカ	0.87%
NESTLE SA-REG	スイス	0.85%
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	0.83%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.82%
AT&T INC	アメリカ	0.81%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

(投資信託名)RIC II World Equity Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	▲1.43%	▲0.14%
過去3ヵ月	+6.07%	+7.75%
過去6ヵ月	▲13.11%	▲10.67%
過去1年	▲8.80%	▲5.96%
過去3年	+41.84%	+36.62%
設定来	+44.09%	+31.65%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2004年6月24日]



ポートフォリオの状況

■地域別構成比率(2011年12月末現在)

地域	比率
US & Canada	48.3%
Europe ex UK	26.7%
United Kingdom	6.3%
Japan	10.6%
Emerging Markets	5.4%
Asia Pacific ex-Japan	2.8%

■株式組入上位10銘柄(2011年12月末現在)

地域	比率	業種	比率
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.6%
Julius Baer Gruppe AG	スイス	金融	1.4%
Diageo	イギリス	生活必需品	1.2%
Intel Corp.	米国	情報テクノロジー	1.1%
Apple, Inc.	米国	情報テクノロジー	1.0%
VISA INC	米国	情報テクノロジー	1.0%
Compagnie Financiere	スイス	一般消費財	0.9%
Daiwa Securities Group, Inc.	日本	金融	0.9%
Linde AG	ドイツ	材料	0.9%
Canon, Inc.	日本	情報テクノロジー	0.8%

■外部委託会社(2011年12月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
MFS Institutional Advisors	マーケット・オリエンテッド・グローバル型	30.0%
Arrowstreet Capital	マーケット・オリエンテッド・グローバル型	20.0%
Axiom	グローバル型	12.5%
Tradewinds	パルティ型	10.0%
Marsico	グローバル型	15.0%
Harris	パルティ型	12.5%

(出所)Russell Investments Limited.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)グローバル成長株ファンド

(運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。
- ◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。
- ◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグロース/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.01%	+2.81%
過去3ヵ月	+2.26%	+5.72%
過去6ヵ月	▲18.81%	▲13.70%
過去1年	▲17.86%	▲12.17%
過去3年	+14.99%	+11.60%
設 定 来	▲21.35%	▲17.48%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2001年10月2日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	62.1%
イギリス	6.0%
フランス	4.4%
日本	3.7%
ケイマン諸島	3.2%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
APPLE COMPUTER INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	4.2%
ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.8%
EMC CORP/MASS	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	2.3%
EBAY INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.0%
GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.9%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカドル	各種金融	1.8%
CELGENE CORP	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	1.6%
NEWS CORP-CL A	アメリカドル	メディア	1.6%
SANDS CHINA LTD	香港ドル	消費者サービス	1.6%
ENSCO PLC-SPON ADR	アメリカドル	エネルギー	1.6%

(投資信託名)RIC Global Bond Fund

(運用会社)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Barclays Capital Global Aggregate)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況
(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+1.08%	+0.67%
過去3ヵ月	+0.97%	+0.23%
過去6ヵ月	+1.05%	+1.21%
過去1年	+5.49%	+5.64%
過去3年	+31.98%	+19.23%
設 定 来	+160.39%	+177.35%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:1994年9月30日]



ポートフォリオの状況

■セクター別構成比

セクター	比率
国債・現金	▲19.7%
政府保証債	▲3.3%
投資適格金融	0.2%
投資適格産業	2.4%
投資適格公益	▲1.1%
A B S	2.1%
R M B S	3.3%
C M B S	0.9%
ハイ・イールド社債	4.5%
エマージング債	10.8%

■格付け別構成比(BM対比)

格付け	比率
AAA・現金	▲21.4%
AA	▲2.7%
A	▲0.2%
BBB	11.9%
その他	12.4%

■外部委託会社(BM対比)(2011年12月末現在)

運用会社	スタイル	目標配分
PIMCO	セクター特化型	34.0%
Colchester Global Investors	7カ・バリュー型	29.0%
Loomis	銘柄選択型	33.0%
Brookfield	セクター特化型	4.0%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
◆シティグループ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
◆原則として為替ヘッジは行いません。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)アパディーン投信投資顧問株式会社

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund, Benchmark. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2002年8月1日]



ポートフォリオの状況(2011年12月末現在)

■国別構成比率 上位5カ国

Table of top 5 countries: Japan (30.88%), Africa (22.52%), UK (8.29%), France (5.92%), Germany (5.92%).

■通貨別構成比率 上位5通貨

Table of top 5 currencies: Japanese Yen (30.88%), Euro (27.46%), Dollar (26.52%), UK Pound (6.64%), Canadian Dollar (1.78%).

※各比率は、各マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

■債券組入上位10銘柄

Table of top 10 bond holdings including issuer, currency, maturity, coupon, rating, and percentage.

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund, Benchmark. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2011年12月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2011年12月末現在)

■種別構成比

Table of asset class composition: Government bonds (78.6%), Corporate bonds (17.0%), etc.

■外部委託運用会社

Table of external asset managers: Risona (50%), DIAM (50%).

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。
- ◆NOMURA-BPI総合短期(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合短期)をベンチマークとします。
- ◆デュレーション、公社債のセクター(種別・格付別等)配分、個別銘柄選定等をアクティブに決定・変更し、収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ノムラ短期債券オープン マザーファンド」を主要投資対象とします。

NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村証券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年～3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数で、一定の銘柄採用基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

(出所)野村アセットマネジメント株式会社ホームページより

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1年	+0.3%	+0.3%
過去2年	+0.3%	+0.3%
過去3年	+0.7%	+0.7%
設定来	+6.8%	+5.8%

※騰落状況は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。
※2～3年の騰落率は年率平均(複利ベース)
※設定来=2002年4月26日以降

ポートフォリオの状況(2011年12月末現在)

■デュレーション

1.8年

■種別構成比

種別	比率
国債	73.5%
地方債	1.4%
政府保証債	1.2%
円建資産	
金融債	2.5%
事業債	14.9%
円建外債	-
MBS	-
ABS	-
その他の債券	2.5%
その他の資産	4.0%
外貨建資産	-

■格付別構成比

格付	比率
AAA	74.8%
AA	13.7%
A	7.5%
BBB	-
BB	-
B以下	-
その他	4.0%

※「デュレーション」は短期金融資産(キャッシュ等)を含めたファンド全体のデュレーションをいいます。

※「種別構成比」における円建資産の種別は、ベンチマークの資産構成比に準じて表示しています。ベンチマークの種別に該当しない債券はその他債券とします。

※格付は、指定格付機関から受けている格付のうち、最も高い格付に依ります。

※比率は、マザーファンドにおける対純資産総額比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しています。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

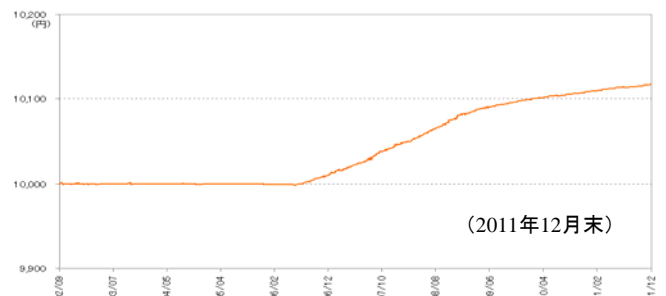
ファンドの特色等

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2011年12月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.01%
過去3ヵ月	+0.03%
過去6ヵ月	+0.04%
過去1年	+0.09%
過去3年	+0.36%
設定来	+1.17%

基準価額の推移(2011年12月末現在) [設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール(2011年11月末現在)

平均残存日数	58.89日
平均残存年数	0.16年

■格付別構成比(2011年11月末現在)

格付	比率
AAA/Aaa	-
AA/Aa	89.4%
A	-
短期債券格付	
A-1/P-1	-
A-2/P-2	-
現金・その他	10.6%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄(2011年11月末現在)

銘柄	格付	比率
第233回 国庫短期証券 2012/02/06	AA/Aa	13.2%
第232回 国庫短期証券 2012/01/30	AA/Aa	9.9%
第236回 国庫短期証券 2012/02/20	AA/Aa	9.9%
第238回 国庫短期証券 2012/02/27	AA/Aa	9.9%
第219回 国庫短期証券 2011/12/05	AA/Aa	6.6%
第223回 国庫短期証券 2011/12/19	AA/Aa	6.6%
第225回 国庫短期証券 2011/12/26	AA/Aa	6.6%
第226回 国庫短期証券 2012/01/12	AA/Aa	6.6%
第228回 国庫短期証券 2012/01/16	AA/Aa	6.6%
第234回 国庫短期証券 2012/02/13	AA/Aa	6.6%

(出所)フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

アバディーン投信投資顧問株式会社

アバディーン・アセット・マネジメント・グループは、英国スコットランドのアバディーンに設立され世界23カ国30カ所に拠点を置き、資産運用に特化したグローバルな独立系資産運用会社です。上場する運用会社としては英国最大級の運用規模を誇っています。1983年の会社設立以降、独立系資産運用会社として主要金融機関の傘下に入ることなく、資産運用に特化した事業を展開し、順調な拡大を遂げています。独自の調査・分析および判断に基づいた運用を基本とし、世界の市場を網羅した効率的で地域に根ざした運用体制を構築しています。チーム運用重視、明確な運用プロセス、フラットな組織のもと、長期的視野に立った運用を行っています。

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社は、フランス共和国パリに本拠を置くアムンディ・グループの日本拠点で、グループ中核会社であるアムンディの100%子会社です。アムンディは、2009年12月31日に欧州有数の銀行グループであるクレディ・アグリコル、ソシエテ ジェネラル、グループ双方の資産運用会社を統合して設立されました。日本では、2010年7月1日付けでクレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社とソシエテ ジェネラル アセット マネジメント株式会社が合併し、当社が発足しました。

アムンディは、世界の主要な金融市場である欧州（パリ、ロンドン、ミラノ）、アジア（日本、香港、シンガポール）、オーストラリア、米国に拠点を置く、グローバルな運用会社です。またビジネスを展開する拠点において強いプレゼンスを有し、お客様と密接で長期的な視野に立った関係の構築を常に心掛けています。

新光投信株式会社

当社は、ともに1961年に創立した新和光投信委託株式会社と太陽投信委託株式会社の合併により誕生した、国内でも有数の歴史を持つ資産運用会社です。2000年4月の合併以来、「魅力ある商品開発」「優れた運用成果」「質の高いサービスの提供」を経営理念とし、資産運用を行う専門家として、投資家のみなさまから信用されるべく、業務に邁進して参りました。

「資産形成のより良きパートナー」をモットーとして、投資家のみなさまからご満足いただける運用成果を目指すとともに、信頼されるサービスのご提供に全社一丸となって取り組んでいく所存です。

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、1959年の設立以来、半世紀にわたって、わが国をリードする資産運用会社として、投資家のみなさまに多様な金融商品を提供しています。

主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する仕組みを確立し、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。アジア戦略の一環として、豪・NZのティンダル、シンガポールのDBS AMを買収し、アジアを代表する資産運用会社へのさらなる発展を目指しています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

野村アセットマネジメント株式会社

1997年10月に野村証券投資信託委託株式会社と野村投資顧問株式会社が合併して発足した、野村グループの資産運用会社です。資産運用業界のリーディングカンパニーとして、最先端の金融テクノロジーを駆使した運用や商品開発、専門性を誇る調査、きめ細かなクライアント・サービス、グローバルなネットワークで、多様化するお客様のニーズにお応えしております。

投資信託だけでなく国内海外を問わず年金基金等の投資顧問の運用受託でも国内トップクラスの運用残高となっております。

フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FIL Limitedの実質的な子会社です。

FIL Limitedは、1969年にバミューダで設立され、米国を除く世界の主要なマーケットにおいて個人投資家と機関投資家を対象に投資商品ならびにサービスを提供しています。委託会社は、日本の機関投資家、個人投資家の皆様に投資機会を提供するための投資信託業務を1995年に開始し、資産運用に従事しています。

FIL Limitedの関連会社である、フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー(FMR Co.)^{※1}は1946年にボストンで設立された歴史のある米国の投資信託会社です。世界各地のフィデリティ^{※2}の投資専門家は、分析した個別企業の投資情報をお互いに共有しているため、グローバルな視点での投資判断が可能となっています。

※1 FMR Co.はFMR LLCの子会社です。

※2 FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。また、「フィデリティ」とは、日本語では「忠誠」、「忠実」を意味します。

ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメント グループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っております。当グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、米国の大手生命保険相互会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの子会社です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【お問い合わせ先】